

2010年 2月17日(水)～3月30日(火)

寄贈品コーナー

平塚古墳情報

2月17日(水)
～3月30日(火)

現在、平塚市遺跡分布地図では古墳や古墳群が23か所掲載され周知されています。平塚市史では過去の文献や現況調査の結果を踏まえ74か所を「古墳・古塚」として掲載しています。そのうち一部は既に削られたり崩壊したりしていますし、未調査のため古墳かどうかわからないものもあります。

一方、平成19年8月、平塚市教育委員会は、周溝確認調査の結果をもとに「塚越古墳は相模国領域内で最大規模の前方後方墳と確定した」と発表しました。また大神地区では牛山古墳が調査され、古墳として新たに遺跡台帳に登載されました。

地域の支配者の墓である「古墳」は、弥生時代における集落単位の社会が、河川流域規模の地域的なまとまりにステップアップしていく様相を示す資料として重要です。全国各地で古墳が注目され、多くが史跡として保存されているという現象も、「地方の時代」を背景にした「地域の歴史を見つめなおす気運」に裏づけられたものと言えます。

今回の展示では、平塚市内の古墳に関する最新の情報をお届けします。



塚越古墳全景▶

(北金目 平成18年9月)